

イスラエルはガザ攻撃を今すぐやめろ!

パレスチナとイスラエルは 即時停戦を!!

ガザでは、罪のない子どもたちが戦争の犠牲に

パレスチナのハマスとイスラエル軍の武力衝突が長期化しています。イスラエル軍はパレスチナ・ガザ地区の学校や病院まで攻撃して破壊しており、国際人道法上も許されることではありません。犠牲者が日に日に増え続け、ガザ市民の犠牲者は1万4千人を大きく超え、その半分以上は子どもたちです。11月14日には、ガザ市内のすべての病院の機能が停止し、新生児などが亡くなったと報じられました。パレスチナ赤新月社のマルワン・ジラニ事務局長は「血だらけの子どもたちの泣き声に耳を傾けてほしい。彼らが一体何をしたというのか。世界はなぜ彼らの命にこれほど無関心なのか」と各国に訴えています。

日本政府は停戦にむけた平和外交を行え

日本政府は、この問題を解決する姿勢に立っていません。ハマスの無差別攻撃は非難するものの、イスラエルの国際人道法を蹂躞する蛮行に対しては、国際法違反として批判することを一貫して避けています。また、国連総会で121カ国が賛成した「人道的休戦を求める決議」に対して日本政府は棄権をしました。岸田首相は棄権の理由について「バランスを考えて」と説明しました。バランスを考えるなら両方とも批判するべきであり、パレスチナともイスラエルとも国交のある政府として両国に働きかけ、憲法9条を活かした平和解決のために積極的な役割を果たすべきです。



23年度補正予算に過去最大の8130億円の軍事費を計上

税金は戦争の準備ではなく、 暮らしと福祉に使え

23年度の補正予算では、巨額の軍事費が盛り込まれました。一般会計の追加歳出額は13兆1992億円ですが、その中に過去最大となる軍事費8130億円が計上されています。23年度当初予算と合わせると軍事費は7兆6349億円に膨れ上がります。その使い道は、他国を攻撃できる性能を持つスタンド・オフ・ミサイルの購入や、佐賀空港への「V22オスプレイ」配備など、日本が戦争できる体制づくりに充てられます。

一方で新型コロナウイルス対策や経済悪化に備えて当初予算に計上した5兆円の子供手当のうち、2兆5000億円が取り崩されずされます。

物価高騰が止まらない今こそ、政府は憲法9条違反の軍事費ではなく、憲法25条にある健康で文化的な最低限度の生活のため福祉の充実などに私たちの税金を使うべきです。

